



こんな方はいませんか？

事故や病気で脳にダメージを受けたら、もしかしたら
こうじのうきのうしょう

「高次脳機能障がい」かもしれません



こうじのうきのうしょう

高次脳機能障がいとは、脳卒中などの病気や交通事故などで脳の一部を

損傷したために、思考・記憶・行為・言語・注意などの脳機能の一部に障がい

が起きた状態をいいます。外見からはわかりにくい障がいであるために、周り

の人から十分に理解を得ることが難しく誤解されてしまうことがあります。

色々な症状

注意障がい

必要なことに注意を集中
できない・続かない、複数の
ことを同時にできない。



記憶障がい

前にあったことを覚えて
いない。新しいことを
覚えられない。



失語

(医学的には高次脳機能障がい)
言葉が出てこない。文章
が書けない。聞こえていても
その意味が分からない。



遂行機能障がい

段どりよく物事を進める
ことができない。優先順位が
つけられない。



半側空間無視

目では見えているのに、片側
に注意がいけないため、見落と
したり、ぶつかったりしやすい。



感情と社会的行動の障がい

感情や欲求のコントロール
ができない。やる気が起き
ない。



き 気になったら まずはご相談ください

板橋区立 障がい者福祉センター

〒175-0082 板橋区高島平 9-25-12

電話:3550-3401 FAX:3550-3410



令和7年3月発行

板橋区福祉部 障がい政策課

出典:東京都福祉保健局

ハートシティ東京HP

サポート方法

① 職場で

疲れやすくなり、仕事に集中できなかったり、イライラしてしまうことがある。段どりよく、物事を進められない。



疲労やイライラしている様子が見られたら、一休みして気分転換を促すようにしましょう。「手順を簡単にする」「日課をシンプルにする」など環境の調整をすることも大切です。



② 日常生活で

コミュニケーションがうまくいかない。新しいことを覚えるにくい。

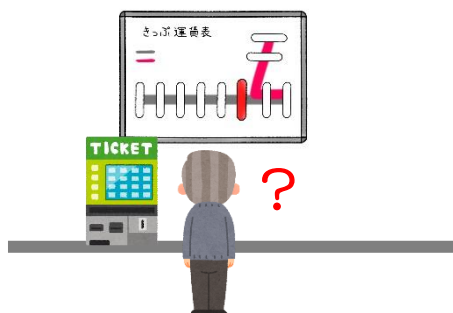


ゆっくり、分かりやすく、話すことを心がけ、何かを頼む時には、一つずつ具体的に提示しましょう。情報はメモに書いて渡し、絵や写真、図なども使って説明するようにしましょう。



③ 街中で

図や表示の意味を理解できないことがある。文字が読めなくなることがある。視界の左側(あるいは右側)の空間にある情報を見落としてしまう。



具体的な絵、写真、ジェスチャーなどを利用してわかりやすくしましょう。また、見落としてしまう側の空間を意識して情報を見直す習慣をつけてもらいましょう。

〇駅は表の右端です。
切符を買う
お手伝いします！



基本的な配慮

気持ちにゆとりを持って接しましょう。

高次脳機能障がいがある方は、話がうまくまとめられなかったり、言葉がとっさに出てこなかったりします。余裕がない態度で接してしまうと、障がいのある方にとってプレッシャーになるばかりでなく、コミュニケーションの意欲を失わせる要因となります。